

ると、「変わり者」にも通じるかもしれません。そうしたことが民話のイワンのイメージにつながっていったのかもしれませんが。ただ、民話のイワンもトルストイのイワンもどこか真理に通ずるものをもっています。人は、自分には出来ないけれどもうまい思いをもってイワンを見ているのかもしれません——まさに愛すべきイワンです。

図書館を利用者として見る

福井 司郎

退職して、仕事に関係なく好きな本が読んでいられると思ったが、非常勤で少し仕事もしているので、自由に面白い本を読みあさるわけにもいかず、読書の内容はあまり変わらない。量の方も、退職前と全く同じようなもので、記録されるものは、一年に160冊前後。従って読書生活は変化なしというところである。

ところが、本の入手はほとんど図書館頼りで、購入するものは、文庫、新書のようなものか、画集や写真集などに限られる。

図書館はというと、初めは、自宅に近い千種、東、名東といった公共図書館を利用しようと思ったが、やはり、馴染みのある中京大学の図書館の常連になってしまった。読みたい本はいくらでも棚に並んでいる。2週間6冊を一年繰り返すと150冊で、誠に都合がよい。

大学に居た者が、使い慣れた大学の図書館を良しとするのは、身びいきで公正なジャッジではないようだが、敢えて一利用者として「使いやすい」といいたい。

実は、在職中は学生・院生・教員といった研究者に対する、本来行うべき大学図書館としてのサービスに重点を置き、その質を高めようと思っていた。多様で広汎なニーズをもつ、地域の不特定な利用者や、オープンカレッジの受講者に満足してもらうサービスまでは無理であるとし、余力があればできる限りの事はするという考えで対応していた。しかし、立場が変わってみると、これだけの資料と、サービス環境と、人材があったらどのようなニーズにも応じられてあたりまえであるのに、大学図書館の枠内でしか考えなかったことを不思議に思う。もっと自由読書の大切さも考えていればと、立場が変われば考えも変わる。

中京大学図書館は、豊田図書館新築移転に始まり、ライブラリーサービスセンター開館、法学文献センター開館と矢継ぎ早にサービス空間の拡大を行い、最近、視聴覚サービス部門の合併に伴う改装でブースの3倍増など設備の充実も着々と進めている。また、開館時間の大幅な延長など、困難な条件をクリアしなければならないサービス拡大をも次々に行っている。そして、その成果は利用統計に如実に現れている。

大学図書館はその大学の学習・研究活動が反映する図書館であってほしい。そのためには、各教員が、推薦図書、課題図書をしっかり学生に示し、それらが、学習活動で活かされていることを確認して頂きたいということである。

最近学習関連資料の利用が伸びていると聞く。利用状況から見ても、教員や、学生が真摯に学習・研究に取り組んでいることはわかる。これは、統計上の話で、私が望むのは、排架の全容やその日々の資料の動き、棚の乱れかたを見て、なるほど、これが活きている大学図書館だと、一目瞭然、納得することなのだ。



【名古屋図書館】 名古屋図書館は、心理学関係の資料が充実しています。

(貸出)

復刻日本の雑誌	P051 / Nz
企業と人材・人的資源管理	P049 / Ge
日本ファジィ学会誌	P401 / Nf
中部の経済	332.15 / Ka
Handbook of parenting	367.3/H29/4

(閲覧)

心理学研究	P140 / Sk
教育心理学研究	P371.4/Ks
児童心理	P371.45/Js
日本心理学会発表論文集	P140 / Ns

【豊田図書館】 社会科学分野 (300) の雑誌の利用が多くみられます。

(貸出)

別冊宝島	P049/Bt
豊橋市史	215.5/To85/7
肩ごしの恋人	913.6/Y97
闘牛	788.4/A73

(閲覧)

小売物価統計調査年報	P337/Kt
日本民俗学	P380/Nm
月刊福祉	P369/Ji
社会事業	P369/Ji

【LSC】 人気の「Oxford Bookworms Library シリーズ」に加え、心理学関係、国文学関係など、さまざまな分野の図書が利用されています。

(貸出)

Anne of Green Gables	837.7 / 093 / 24
Alice's adventures in Wonderland	837.7 / 093 / 23
Love story	837.7 / 093 / 62
Aladdin and the enchanted lamp	837.7 / 093 / 2
別冊ジュリスト	P320 / B j / 37
現代のエスプリ	P049 / G e
ニュートン別冊	P405 / N b / 2002
心理測定法への招待	140.7 / I 14
川端康成「雪国」作品論文集	913.6 / I 97 / 2

【法学文献センター】 これら資料の他、判例を調べるCD-ROMの利用も増えています。

(貸出)

刑法総論	326.1/Y24
国際法綱要	329 / Mi88
国際法講義	329 / Ta11/2
国際法総論	329 / F72

(閲覧)

判例時報	P320/Hj
国際法と国内法	329.01/H71
商法の争点	P325/Ss/1993
判例タイムズ	P320/Ht



新着図書セレクト



『この世のあらゆる書物も、君に幸福をもたらさしはしない。
だが、書物はひそかに君自身の中に君を立ち帰らせる。』 by ヘッセ

7・8・9月の新着図書のなかから、お薦め本を紹介します。この秋にこそ、読書と思索のいとまをつくりませんか。ぜひ、ご一読ください。

請求記号	タイトル・著者・出版社	所蔵
002 / W 75	『 知の挑戦 』（エドワード・O・ウィルソン著 角川書店） 科学・宗教・芸術などあらゆる知を統合し、人間の本性を解き明かさそうとする、知の巨人ウィルソンの金字塔的著作。	TL
002.7 / N 43	『 大学生のための研究論文のまとめ方 』（中田英雄・金城悟編著 文化書房博文社）	LSC
100 / Ko 89	『 日本一わかりやすい哲学の教科書 』（小須田健著 明日香出版）	LSC
204.9 / Ki 39	『 歴史の風景 』（木村尚三郎著 山川出版社） 「進歩と発展」から「調和と連帯」へ、「技術」より「いのち」へ、歴史への問いかけが始まるとき。激動の時代に生きる歴史家の知恵、珠玉のエッセイ。	TL
210.08 / A 32	『 女の領域・男の領域 』（赤坂憲雄[ほか]編 岩波書店） なぜ女なのか、なぜ男なのか。性とジェンダーの具体相を抉る。	TL
242.03 / Ma 14	『 古代エジプト文化とヒエログリフ 』（ブリジット・マクダーモット著 産調出版） カラフルな寝殿や墓の写真を豊富に取り入れ、象形文字で解説する決定版。ヒエログリフには魅惑の物語が詰まっています。	TL
289.1 / Y 88	『 不良少年の夢 』（義家弘介著 光文社） 全国から集まってきた高校中退や不登校生と共に戦う、“元不良”だった教師の熱き挑戦！	LSC
302.53 / H 52	『 アメリカ、自由の名のもとに 』（ナット・ヘントフ著 岩波書店） チャーミングで激烈、スウィートにして心揺さぶる 20年間のコラムを、9.11以後の発言も含め、初めて大集成。	LSC
319.27 / Y 46	『 戦争と外交 』（山内昌之著 ダイアモンド社） 戦争と平和を現実的に即して論究。日本外交のありかたを問う。	TL
329.33 / N 71	『 わかりやすい国連の活動と世界 』（日本国際連合協会著 三修社）	LSC LL
332.107 / N 93	『 経済論戦 』（野口旭著 日本評論社） 世間知にとらわれた「経済学を知らないエコノミストたち」を相手にした獅子奮迅の闘いの記録。	LSC
333.8 / Ts 73	『 地球が舞台 』（津守滋編 勁草書房） 国際NGO最前線からの活動報告。	LL TL
335.22 / Mu 62	『 アジア経営学 』（村山元英著 中京大学中小企業研究所） 三十数年前に立ちあげた理論、アジア経営学の検証と進化そして再体系化。	NL LSC TL

337.1 / H 39	『大学の倫理』 (蓮実重彦[ほか]編 東京大学出版会) 大学がいかにあるべきかを大学の立場で本格的に思索し、研究のあるべき姿と規準、教育のあり方、歴史と人類に責任をもちうる大学の位置づけなど、様々な課題とアプローチを包摂する。	LSC TL
457 / F 39	『生命 40 億年全史』 (リチャード・フォーティ著 草思社) いかなる進化劇が展開されてきたのか。大英自然史博物館の古生物学者が化石資料を縦横無尽に駆使し、自身の発掘調査の興奮を織りまぜながら、広大無辺な 40 億年を一つの物語にまとめ上げた、決定版・生命史。	LSC TL
491.3 / Ka 62	『からだのしくみ事典』 (浅野伍朗監修 成美堂出版)	TL
527.8 / Sa 85	『間取りの手帖』 (佐藤和歌子著 リトル・モア) へんな間取り満載。	LSC
578.4 / Ma 89	『百万分の一の歯車!』 (松浦元男著 中経出版) マイクロパーツで世界のド肝をぬいた樹研工業のカリスマ経営者が語るその技と哲学のすべて。元気になりたい人、とにかく前に進みたい人たちに贈る経営と人生の教科書。	LSC
673.8 / O 38	『トップが語る 21 世紀の経営戦略』 (岡田卓也[述]、西村晃著 たちばな出版) 本書では岡田卓也イオングループ代表との長時間インタビューをもとに、イオングループの戦略とは何かを検証し、あわせて 21 世紀の日本の小売流通がどうなるのかを考えていきたい。	NL
675 / Su 89	『マーケティング・ネットワーク論』 (陶山計介[ほか]編 有斐閣)	LSC
759 / To 66	『世界のおもちゃ 100 選』 (トライプラス編著 中央公論新社)	TL
778.2 / Mu 62	『映画史を学ぶクリティカル・ワーズ』 (村山匡一朗編 フィルムアート社) ソニマージュ (音と映像) 時代のキーワード。鑑賞・研究・批評にコンパクトに使える映画事典。	LSC
780.19 / Ta 49	『からだには希望がある』 (高岡英夫著 綜合法令出版) 驚異のスーパーリラックス法! ゆる体操、極意、呼吸法、気功。高岡メソッドであなたは変わる。	LSC TL
815 / Ku 55	『正しく美しい日本語のしくみ』 (倉島長正著 日本実出版社)	TL
910.268 / H 29	『漱石先生お久しぶりです』 (半藤一利著 平凡社) 孤独と個人主義を貫き、百年単位で考えながら、やさしさとかなしみをユーモアでくるんだ生きた先達へ。	TL
910.268 / Sa 22	『あのころの未来』 (最相葉月著 新潮社) 遠い日、夢見た世界に僕らは生きているのだろうか。著者が星新一とともに考える科学の進化と人間の現在。	LSC
913.6 / O 73	『九月の四分の一』 (大崎善生著 新潮社) 失われたときの痛みとぬくもり、心のゆらぎを紡ぐ著者初の短編集。	LSC
914.6 / H 52	『いま、抗暴のときに』 (辺見庸著 毎日新聞社) イラク侵略戦争、武装化する日本、迫りくる「次の戦争」を人倫の根源から告発するいま最も熱いテキスト!	LSC

2003年度図書館ゼミガイダンスの結果について

図書館では4月から6月までの3カ月間にわたって、ゼミ単位の図書館ガイダンスを実施しました。全館で79のゼミが参加しました。その中で、名古屋図書館（名古屋学舎1号館）が実施した45のゼミ、612名からアンケートをとりましたので、その概要を報告いたします。

（アンケートの結果）

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 図書館の利用について | 2. 検索機を使つての図書の探し方について |
| ア. よくわかつた : 233 | ア. よくわかつた : 286 |
| イ. わかつた : 258 | イ. わかつた : 233 |
| ウ. だいたいわかつた : 120 | ウ. だいたいわかつた : 92 |
| エ. わからなかつた : 1 | エ. わからなかつた : 1 |
| 3. パスワード変更の仕方について | 4. 説明はわかりやすかつたか |
| ア. よくわかつた : 223 | ア. よくわかつた : 329 |
| イ. わかつた : 217 | イ. わかつた : 234 |
| ウ. だいたいわかつた : 124 | ウ. ふつう : 48 |
| エ. わからなかつた : 48 | エ. わかりにくかつた : 1 |
5. ガイダンスを受けて、図書館を利用してみたいか
- | | |
|-------------|-------|
| ア. ぜひ利用してみた | : 242 |
| イ. い | : 356 |
| ウ. 利用したい | : 14 |
| 利用する気はない | |

感想の一部

（説明について）

- ・わかりやすいガイダンスだった。受けてよかった。（51名）
- ・名古屋図書館は入りにくいイメージがあつたけど、ガイダンスを受けて前より身近に感じられるようになった。（6名）
- ・閉架書庫は興味があるものの敬遠しがちでした。今回のガイダンスを受けて実践的で楽しかつたので、敬遠していたイメージが変わりました。
- ・ガイダンスは勉強になつたので、希望者にはどんどん行ってもらえると良いと思います。
- ・閉架書庫の中には膨大な図書があるのに、ガイダンスを受けたことで簡単に目的の本を見つけることが出来たことにはびっくりした。
- ・今日のような利用説明を1年の時点で聞いておきたいと思った。
- ・最後の検索練習問題は楽しかつたです。今までとつきにくいイメージを持っていましたが、二度目のガイダンスは分かり易かつたです。

(閉架書庫について)

- ・蔵書の多さに広さに感動した(59名)
- ・閉架書庫をもっと気軽に使いたい。自由に入れるようにしてほしい。(23名)
- ・もっと書庫を見たかった(10名)
- ・LSC に比べてこちらの図書館のほうが本の数が多かったことに驚きました。検索ははじめてしましたが、本を見つけることが出来ました。また利用したいと思います。
- ・閉架書庫に入るためのガイダンスをやってほしい。

(その他)

- ・これから図書館を有効に使っていききたい。(68名)
- ・名古屋図書館の存在をもっと学生に宣伝したほうがいい。知らない人が多い。(9名)
- ・LSC と違って静か。勉強をする場所としては最適！(8名)
- ・これだけ書物があるのだから、先生から学生にもっと利用するように促してもらいたい。

以上がアンケート結果でした。

コメント欄に記入されたメッセージの中で、名古屋図書館は入館しづらいというイメージがあると言うコメントがありましたが、利用した学生からは静かな環境が整えられている為、個人で学習するには最適の場所だという意見を頂いています。

名古屋図書館を利用している心理学研究科の大学院生、古本裕佳さんより利用についての感想を頂きましたので、ここにご紹介します

名古屋図書館閉架図書を利用して

心理学研究科臨床・発達心理学専攻 古本 裕佳

私は大学院生になってから中京大学の閉架図書館を利用する回数が多くなりました。初めは、使いにくそうな印象を持っていました。なぜならば、自分で検索しなくてはならないので、手間がかかり面倒なことや検索をしても自分の欲しい図書を探せなかったり、本を直接取りに行くことができないので、本を見てほしい資料か吟味ができないことがあったからでした。しかし、利用していると多くの利点に気がつきました。自分の調べたい図書をコンピューターで調べて、失敗することで本の検索の仕方を学んでいたり、思わぬ図書や資料に出くわしたりしました。さらに、様々に検索することで自分の調べたい図書以外にも興味のある図書を調べることができます。また、実際に閉架図書に入って調べると、図書の分類ごとに所蔵されているので調べやすく、静かなのでゆっくりと様々な図書及び論文を調べることができます。図書館内も静かで広い机があるので、集中して勉強ができます。私も実際に図書を調べるだけでなく、勉強するために使用したり、グループでの勉強にも使用しました。

実際使用するまでは、遠くて使いづらい印象がありましたが、使用して閉架図書の豊富な資料に触れると多くの利点に気づき、今まで自分では探せなかった資料を得ることができました。

図書館カレンダー

10 月							11 月							12 月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							①		1	2	3	4	5	6
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			
							30													

1 月							2 月							3 月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
				1	2	3		1	2	3	4	⑤	⑥	7		①	②	③	④	⑤	⑥
4	5	6	⑦	⑧	⑨	⑩	8	⑨	⑩	11	12	13	14	7	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
11	12	13	14	15	16	17	15	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	14	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	20	
18	19	20	21	22	23	24	22	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	21	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	
25	26	27	28	29	30	31	29							28	㉘	㉙	㉚	㉛			

■ は休館日です。

■ は開館時間短縮(9:00~16:00)

○ の開館時間(平日 9:00~17:00 土曜日 9:00~12:30)

1月17日(土) 豊田図書館のみ開館(入試センター試験のため)

2月1日(日)~4日(水) 7日(土)入試のため閉館

3月19日(金) 卒業式のため閉館

編集後記

クリブ ニュース 第38号をお届けします。今号は、司書講座担当の先生や学生利用者の声もお届けでき、一層充実できたと思います。

次号以降も利用者の皆様の、生の声の投稿を心からお待ちしています。原稿のお尋ねは、図書館カウンターにお寄せ下さい。

編集委員一同